

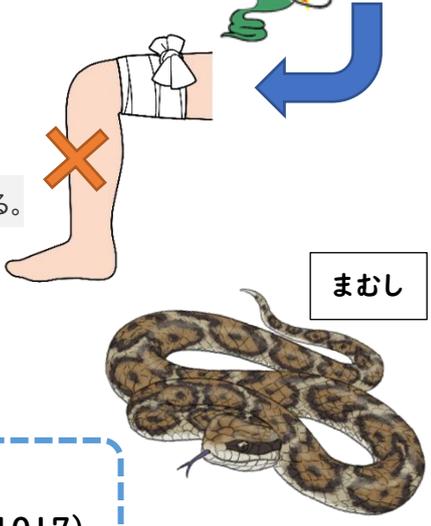


日差しが強い日が多くなってきました。暑い時期には、熱中症になったり、まむし等の毒へびにかまれたり
する可能性が高くなります。それぞれの対処法について、確認しておきましょう!

どく 毒へびにかまれたら!!



- ・あわてずに、救急車を呼び、安静に。※体を動かすと毒のまわりが早くなる。
- ・傷口より心臓に近い部分(傷口の5~6cm上)をヒモか布で強くしる。
- ※救急車がなかなか到着しない場合は、縛った時間をメモし、10~20分置きに緩める。
- ・できれば、流水で洗い流しながら、毒を絞り出すとよい。
- ・病院で治療を受け、必要に応じて血清を使用する可能性がある。



近隣で、まむしの血清が置いてある場所
ホウエツ病院(52-1095)・こうざい薬局(52-1593)・美馬保健所(52-1017)

ねっちゅうしょう 熱中症になったら!!

【熱中症の症状】軽症:めまい、立ちくらみ、足ががつる 中等症:頭痛、吐き気、嘔吐、顔が青白い
【軽症・中等症の場合の対処法】下の図のように、体を冷やし、回復しても病院受診する。



風通しのよい日陰・クーラーの効いた室内

スポーツドリンク
や経口補水液は、
意識がある場合
のみ補給する。

ぬれタオルを用意し、体にあてる

足を高くし、
血液の循環
をよくする。

首 わき 足のつけ根を冷やす

【重症】呼びかけても答えない、意味不明な言葉を発する、汗が出ていない、体温40℃以上
救急車を要請。家の場合、氷水風呂に体をつける。屋外の場合、ホースで全身に水をかけ続ける。

